

令和6年度鶴ヶ島中学校 学習シラバス



< 1 学年 >

シラバスとは、学校で行われる授業の年間計画の概要を示したものです。教科の目標やいつ頃に何を学ぶのかを知らせるものです。

学習の流れや評価の観点を理解し、これからの学習計画を立てるのにも役立ちます。学習について、ご家庭での対話のきっかけにしてください。

国語（1年）

●教科の目標

- ・国語を適切に表現・理解する能力を身につける。
- ・言語感覚を豊かにすることによって、国語に対する認識を深め、国語を尊重することができる。

●指導計画

1 学期	4月	言葉に出会うために 朝のリレー／野原はうたう／声を届ける 学びをひらく シンジュン／情報を整理して書こう／漢字の組み立てと部首	硬筆
	5月		
	6月	新しい視点で ダイコンは大きな根／ちょっと立ち止まって／文法への扉(言葉の単位)	
	7月		読書生活を豊かに
	8月	言葉に立ち止まる 詩の世界／比喻で広がる言葉の世界／ 指示する語句と接続する語句	
2 学期	9月	心の動き 大人になれなかった弟たちに／星の花が降るころに／聞き上手になろう／ 漢字の音と訓	
	10月	筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ／根拠を示して説明しよう／話題や展開を 捉えて話し合おう	
	11月	いにしえの心にふれる いろは歌／古典の世界／蓬萊の玉の枝／今に生きる言葉(故事成語)	
	12月	価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す／助言を自分の文章に生かそう／ 文法への扉(分の組み立て)	毛筆
3 学期	1月	自分を見つめる 少年の日の思い出／随筆二編／構成や描写を工夫して書こう／ 文法への扉(単語の分類)／さまざまな表現技法／漢字の成り立ち	
	2月		
	3月		

●評価方法

【知識・技能】

定期テスト、漢字テスト、授業での取り組み（既存の知識を活用して課題解決を図る活動） など

【思考・判断・表現】

定期テスト、提出物（ノートメモ等）の記述内容、単元の振り返りの記述、ポートフォリオ など

【主体的に学習に取り組む態度】

授業ごとの振り返りの記述内容、授業内での発言内容、課題解決の際の行動観察 など

教科：社会科（1年）

●教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせる。

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を身につける。

●指導計画

1 学 期	4月	【地理】第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿
	5月	第2章 日本の姿 【地理】第2編 世界のさまざまな地域
	6月	第1章 世界各地の人々の生活と環境 【歴史】第1章 歴史へのとびら
	7月	持続可能な社会の実現にむけて 第2章 古代までの日本
	8月	第1節 世界の古代文明と宗教のおこり 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流
2 学 期	9月	第3節 古代国家の歩みと東アジア世界 【地理】第2章 世界の諸地域
	10月	アジア州 ヨーロッパ州
	11月	アフリカ州 北アメリカ州
	12月	南アメリカ州 オセアニア州
3 学 期	1月	第3編 日本の様々な地域 第1章 地域調査の手法
	2月	【歴史】第3章 中世の日本 第1節 武士の政権の成立
	3月	第2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開

●評価方法

【知識・技能】

定期試験、小テストなど

【思考・判断・表現】

定期試験、自己評価カードの取り組みなど

【主体的に学習に取り組む態度】

授業の取組（ノートの取組や課題の取組状況、自己評価カード）、課題の達成状況 など

数学（1年）

●教科の目標

- (1) 基礎的・基本的な内容を理解する。
- (2) 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
- (3) 数学的活動の楽しさや、見方・考え方のよさを知り、進んで学びに向かう態度を身に着ける。

●指導計画

1 学期	4月	1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 2節 正の数・負の数の計算 3節 正の数・負の数の利用
	5月	
	6月	
	7月	2章 文字の式 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算
2 学期	8月	3章 方程式 1節 方程式 2節 方程式の利用
	9月	
	10月	4章 変化と対応 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例、反比例の利用
	11月	
12月	5章 平面図形 1節 直線と図形 2節 移動と作図 3節 円とおうぎ形	
3 学期	1月	6章 空間図形 1節 立体と空間図形 2節 立体の体積と表面積
	2月	
	3月	7章 データの活用 1節 ヒストグラムと相対度数 2節 データにもとづく確率

●評価方法

【知識・技能】

定期テスト、小テスト、授業での取り組み

【思考・判断・表現】

定期テスト、小テスト、提出物の記述内容、単元の振り返りの記述 授業での取り組み

【主体的に学習に取り組む態度】

授業のふりかえの記述、授業での発言、提出物の記述内容

教科：理科（1年）

●教科の目標

- (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。
- (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。
- (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究することができる。

●指導計画

1 学期	4月	
	5月	[生命] 1章 植物の特徴と分類
	6月	2章 動物の特徴と分類 [物質]
	7月	1章 いろいろな物質とその性質
	8月	
2 学期	9月	2章 いろいろな気体とその性質
	10月	3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化
	11月	[エネルギー] 1章 光による現象
	12月	2章 音による現象
3 学期	1月	3章 力による現象 [地球]
	2月	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地
	3月	3章 火をふく大地 4章 語る大地

●評価方法

【知識・技能】

定期試験、小テスト、観察・実験の取組（レポートの内容・パフォーマンステストなど） など

【思考・判断・表現】

定期試験、授業プリントの課題、観察・実験レポートの考察 など

【主体的に学習に取り組む態度】

授業の取組（ノートの取組や課題の取組状況）、授業の発言内容、課題解決の際の行動観察 など

音楽（1年）

●教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を身につける。

●指導計画

1 学期	4月	新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう
	5月	曲の構成を感じ取ってその魅力を味わおう。
	6月	箏曲の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう。
	7月	和楽器に親しもう。 日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう
	8月	
2 学期	9月	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。
	10月	曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう。
	11月	曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう。
	12月	アルトリコーダーの吹き方を工夫しよう。
3 学期	1月	音楽の特徴から情景を想像しよう。
	2月	イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう。
	3月	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。

●評価方法

【知識・技能】 定期テスト、提出物、授業での取り組み、実技のテストなど

【思考・判断・表現】 授業での取り組み、実技テスト、提出物 など

【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発言内容、課題解決の際の行動観察など

令和6年度 美術科シラバス 【全学年】

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 各学年の目標

1 学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学年及び3 学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 学習内容

分野； 絵 鑑 彫 彫 刻 デ デザイン 工 工 芸 鑑 鑑 賞

学期	月	1 学年 (45 時間)	2 学年 (35 時間)	3 学年 (35 時間)
1 学期	4	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
		フェルメール・ゴッホ 鑑	暮らしやすさのデザイン 鑑	自画像 鑑
	5	色の学習・基礎技能の学習 絵	魅力が伝わるパッケージ デ	自己を見つめて 絵 ～自画像を描こう～
	6 7	見て感じて描く 絵 見て感じてつくる 彫	彫	
2 学期	9	文字のデザイン 鑑 楽しく伝えるオノマトペ デ	幻想絵画 鑑 水彩画の技法 絵	彫刻・ファブリックアート 鑑 卒業記念 15の思いをカタチに 彫
	10		心の中の世界 絵 ～形・色・イメージ～	
	11	木工芸品 鑑		
	12	一枚の板から・・・家族への贈り物！ 工	仏像 鑑	ピカソの鑑賞
3 学期	1		四季を感じて 日本の伝統 デ工	コマドリアニメーション KOMAKOMA をつくろう！ デ工
	2	感情を形や色で表そう！ 絵		
	3			美術の力・明日への巣立ち 鑑

3 評価の観点

観 点	第 1 学年	第 2 学年・第 3 学年
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
思考・判断・表現	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考える構想とともに、主題を生み出し豊かに発想しを練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価方法

<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色を見る観察力、それを感じ表現する写実力が身につけている。(作品、スケッチ 実技テスト) ・鉛筆や色鉛筆、ポスターカラー、彫刻刀、木工具などの基本的技能を身に付け、表現方法を工夫し創造的に表現し、作品を制作できる。(作品、実技テスト) ・制作過程や用具の使用法や手順などの知識を理解し制作できる。(作品、筆記テスト) <p>思考・判断・表現 (発想・鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の意図と工夫、機能性と美しさ、働きなどについて考えている。(作品、実技テスト) ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。(スケッチ、作品、実技テスト) ・参考作品、自他の作品から、見方や感じ方を深め、よさや美しさ、感じ取ったことを言葉で表現できる。 (鑑賞発表、鑑賞プリント、筆記テスト) <p>主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、意欲的に取り組んでいる。(授業観察、自己評価カード) ・自分の座席で決められたルールや方法を守り、安全に活動できる。(授業観察) ・時間を守り、服装、道具(資料集、ファイル、鉛筆、ポスターカラーなど)の準備ができる。(授業観察) ・作品、プリントの提出期限を守る。(作品、プリント) <p>制作作品をはじめ、授業観察、アイデアスケッチ、自己評価カード、鑑賞プリント、作品カード、学期テスト(筆記と実技)などから総合的に評価する。</p>

5 観点達成度の目安

十分満足できる (100~80%)	→ A
おおむね満足できる (79~50%)	→ B
努力を要する (49~0%)	→ C



体育（1年）

●教科の目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、運動に親しむ資質や能力を身につける。
- ・集団行動を行う中で、集団の一員としての意識と行動を身につける。
- ・体を動かすことに興味・関心を持ち、自ら進んで体力の向上に取り組むことができる。

●指導計画

1 学期	4月	体育理論、体づくり
	5月	体づくり、陸上Ⅰ
	6月	器械運動、水泳
	7月	水泳
	8月	球技Ⅰ（バレーボール）
2 学期	9月	球技Ⅰ（バレーボール） 保健 健康的な生活と疾病の予防①・心身の機能の発達
	10月	武道（柔道）・球技Ⅱ（ソフトボール）
	11月	陸上Ⅲ（長距離）
	12月	陸上Ⅲ（長距離）、ダンス
3 学期	1月	ダンス、球技Ⅲ（サッカー）
	2月	球技Ⅲ（サッカー）
	3月	体づくり（陸上）

●評価方法

【知識・技能】

・運動の特性に応じた技能を身につけるとともに、自己の能力に応じた技能を高めることができる。（実技テスト）また、運動の特性や学び方を理解するとともに、ルールやマナーなどの知識を身につけている。（定期テスト）

【思考・判断・表現】

・自分の能力に適した課題をもって、練習の仕方を工夫しようとしている。（学習カードや話し合い活動等）

【主体的に学習に取り組む態度】

・運動の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえる。また、仲間と協力し安全に留意して取り組もうとする。（授業態度）

技術・家庭科（技術分野）（1年）後期

●教科の目標

学習を通して生活や技術に関する実践的体験活動を行い、よりよい生活の実践や持続可能なことを考える力を身につける。

●指導計画

後期	2 学期	10月	<p>材料と加工の技術 材料を利用するための技術 木材の性質・特徴・じょうぶな構造 製図 問題解決の手順。流れ」 設計 自分の作りたい形を考える</p> <p>製作のための技能 けがき・切断 切削の方法を知る 材料取りと部品加工 けがき・切断・切削を実施する 組み立てと仕上げ 組み立ての準備・穴あけ 塗装の準備・塗装 作品の評価</p>
		11月	
		12月	
	3 学期	1月	
		2月	
		3月	

●評価方法

【知識・技能】

プリント・定期テスト・実習

【思考・判断・表現】

プリント・定期テスト・実習

【主体的に学習に取り組む態度】

プリント・製作品・実習

技術・家庭科（家庭分野）（1年）

●教科の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。

●指導計画

1 学期	4月	【家族と家庭生活】・家族と家庭のはたらき 【食事の役割と食習】 食事の役割・健康に良い食習慣
	5月	
	6月	【中学生に必要な栄養を満たす食事】 ・体に入った栄養素のゆくえ ・中学生の発達と栄養素 ・栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ・1日に取りたい食品と分量
	7月	
8月		
2 学期	9月	【さまざまな食品とその選択】 ・食品が食卓にのぼるまで ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・食品の安全と情報 【日常食の調理】 ・調理の計画 ・肉・魚・野菜の調理（技能テスト実施） 【献立づくり】 ・1日分の献立
	10月	
	11月	
	12月	
3 学期	1月	【消費生活と環境】 ・消費生活のしくみ ・いろいろな購入方法と支払い方法 ・消費者トラブル・消費者の権利と責任
	2月	
	3月	

●評価方法

【知識・技能】

ワークシート・定期テスト・技能テスト・実習

【思考・判断・表現】

ワークシート・定期テスト・実習

【主体的に学習に取り組む態度】

ワークシート・振り返りカード

英語（1年）

●教科の目標

- ①主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- ②聞くこと、話すこと（やり取り、発表）、読むこと、書くことなどのコミュニケーションに活用できる知識・技能を身につける。
- ③学んだことを活用し、思考力・判断力・表現力等を身につける。

●指導計画

1 学期	4月	・ like / can / want to~/ when, where の疑問文など ・ アルファベットの形と発音
	5月	・ 辞書を引いてみよう・ be 動詞（肯定・否定・疑問） ・ where の疑問文 ・ 数の言い方 ・ 一般動詞（肯定・否定・疑問） ・ 複数形 ・ when
	6月	・ 曜日・天気 ・ 命令文 ・ can（肯定・否定・疑問） ・ what の疑問文
	7月	・ 復習・ハンバーガーショップでの注文 ・ This (That) is～.（肯定・否定・疑問）・代名詞 ・ who の疑問文
	8月	
2 学期	9月	・ 三人称・単数・現在（肯定・否定・疑問） ・ 季節、月
	10月	・ him, her / why の疑問文 ・ Because～. ・ 道案内 ・ 店内放送を聞こう ・ 順番、日付
	11月	・ There is [are] / how の疑問文 ・ スピーチの構成 ・ 疑問詞まとめ
	12月	・ 他人紹介 ・ 現在進行形 ・ インフォメーションギャップ
3 学期	1月	・ 一般動詞の過去形（肯定・否定・疑問）
	2月	・ be 動詞の過去形/過去進行形（肯定・否定・疑問）
	3月	・ 復習 ・ 手紙の書き方

●評価方法

【知識・技能】

- ・ 定期テスト、ワークシート、リーディングテスト、発表、ペアワーク等

【思考・判断・表現】

- ・ 定期テスト、インタビューテスト、リーディングテスト、発表、ペアワーク等

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ ライティング、発表、インタビューテスト、授業の取り組み、提出物等